

# 多発性骨髄腫および骨髄増殖性腫瘍、骨髄異形成症候群の進行に伴う病態の解明

## 1. 研究の対象

下記のいずれかの条件を満たす、本人または代諾者が文書にて同意取得可能な方

- ① 多発性骨髄腫または MGUS として診察を受けている方
- ② 整形外科にて大腿骨頭置換術または脊椎除圧術を施行される方
- ③ 血縁同種骨髄移植ドナーとして骨髄採取術を施行される方
- ④ 帝王切開により出産予定の妊婦
- ⑤ 骨髄増殖性腫瘍、骨髄異形成症候群として診察を受けている方

## 2. 研究目的・方法

正常な血液細胞の成熟と血液腫瘍の発生・進行は、骨髄内の血液細胞を取りまく環境の中で、お互いが、強い影響を与えています。近年その重要性がさらに明らかになってきましたが、これらの研究は、ほとんどが動物実験モデルや細胞培養によって行われています。本研究では、多発性骨髄腫、骨髄増殖性腫瘍、骨髄異形成症候群の患者さんが免疫不全や貧血を起こす仕組みを明らかにするために、患者さんの骨髄と共に、健康な骨髄や造血細胞を同時に比較、検討します。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：採血・骨髄穿刺・骨髄生検を行う際の残余検体、手術に伴って摘出された大腿骨頭・脊椎骨検体にふくまれる骨髄組織、臍帯血

情報：治療とその後の経過、血液・画像検査データ、カルテ記載等

## 4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関は大阪大学大学院生命機能研究科 幹細胞・免疫発生研究室です。大阪大学微生物病研究所で解析が行われる場合があります。

検体は提供先では個人が特定できない形で搬送します。

## 5. 研究組織

研究代表施設：大阪大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科

研究代表者： 大阪大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科 保仙 直毅 教授

共同協力機関・共同協力機関責任者：

協和会病院・中村宣雄 副院長、人工関節センター長

早石病院・早石 雅宥 副院長

大阪大学大学院生命機能研究科 幹細胞・免疫発生研究室・長澤丘司 教授

大阪国際がんセンター・石川 淳 血液内科主任部長

市立豊中病院・小杉 智 血液内科部長  
国家公務員共済組合連合会 大手前病院・齊藤 則充 血液内科部長  
日本生命済生会附属 日生病院・川上 学 血液・化学療法内科部長  
大阪急性期・総合医療センター・石河 純 血液・腫瘍内科副部長  
社会医療法人純幸会 関西メディカル病院・渡邊 哲 整形外科部長

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2

TEL:06-6879-3871 FAX:06-6879-3879

助教 一井倫子

研究責任者：

大阪大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科 教授 保仙 直毅

研究代表者：

大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科 教授 保仙 直毅